

<緊急声明>

京丹後市への米軍Xバンドレーダー基地着工に抗議し、
いますぐ中止・計画の撤回を求める。

米軍および防衛省は、5月26日午後京丹後市および京都府に対し、本日27日に京丹後市宇川に、米軍Xバンドレーダー基地着工を通告した。住民の暮らしの安心・安全が脅かされることに対する不安と疑問に答えようともせず、工事を強行する米軍と政府防衛省に対し、満身の怒りをもって抗議するものである。

同レーダー基地は、米国の軍事行動における「目」となるもので、京都府民を戦争に巻き込む危険極まりない基地であることが浮き彫りになった。敵国を想定した危険な米軍基地を建設することは、住民のいのちと暮らしを脅かすものであり、安倍首相が集団的自衛権容認を主張する下で、なおさらその危険性は、現実のものとなっている。

また、この間、在日米軍基地の周辺で発生する被害実態をふまえて、米兵や軍属が峰山に駐留して工事現場へ通うことについて、周辺住民の安全・安心や通学路をはじめとした安全確保ができないことから、我々は、基地設置は認められないと主張してきた。

京都府民のいのちと暮らしが脅かされる米軍基地建設は断じて認められない。

この間、我々がこれら問題点を示してきたことに対し、京都府は過日7項目の防衛省に対する質問を提示した。これに対する回答も説明もないまま、前日に工事着工を通告し、作業を強行することは、地方自治体を愚弄するものであり、断じて看過できない。

京都府知事および京丹後市長は、防衛省に対し、即刻、工事の中止・撤回を申し入れるべきである。

基地建設を憂え、反対するすべての皆さんと力をあわせ、主権者国民・住民に敵対して、危険な米軍基地の建設を強行することに、強く反対するものである。

2014年5月27日

京都地方労働組合総評議会
議長 吉岡 徹